

## 5-2 東海・南関東地域の地震活動（1990年5月～10月）

Seismic Activity in the Tokai and Southern Kanto Districts (May – October, 1990)

気象庁地震予知情報課

Earthquake Prediction Information Division  
Japan Meteorological Agency

第1図(a)～(f)に、1990年5月～10月の東海・南関東地域における地震の月別震央分布、第2図(a)・(b)に1990年5月～7月と同年8月～10月の3カ月間ごとの地震の震央分布、第3図に1990年1月～6月までの6カ月間における地震の震央分布を示す。いずれも震源の深さ90km以浅の地震についてのものである。

この期間、特に注目された地震活動は次のとおりであるが、これらについては、それぞれ別項に活動の詳細を掲載した。

5月3日の鹿島灘のM5.2\*、5月5日から活発化した岐阜・長野県境付近の地震活動（最大地震M4.3\*・5月21日）、6月1日の銚子付近のM6.0\*、6月5日の神奈川県北西部のM5.5\*、7月22日～26日にかけての房総半島南東沖の群発地震（最大地震M3.6・7月22日）、8月5日の茨城県沖のM5.8\*、8月5日の神奈川県西部のM5.1\*、8月23日の千葉県中部のM5.4\*、9月24日の東海はるか沖のM6.6\*、10月5日から活発化した三宅島近海の地震活動（最大地震M4.3\*・10月27日）、10月6日の鹿島灘のM5.0\*の地震などである。

### <東海地域>

東海地震の想定震源域とその付近（B領域）では、M3クラス以上の地震発生が、1988年後半から1989年前半にかけてみられず空白化していたが、その後はこれまでに19個（11月10日現在）が発生し、月当たりの地震数は空白化する以前の状態にもどった。この詳細については別項「東海地方における地震活動の変化」に記載したとおりである。今後の活動の推移に、なお留意を要する。

目をひく各月の主な地震は、5月は静岡・山梨県境の16日のM3.9\*、浜名湖付近の17日のM3.4、東海はるか沖の20日のM3.2、静岡市付近の21日のM3.0、焼津付近の30日のM3.0とM3.1。6月は御前崎付近の18日のM3.3、静岡市付近の25日のM3.1、愛知県北部の5日のM3.1と北西部の14日のM3.2及び東部の25日のM3.2。7月は焼津付近の9日のM3.5\*、静岡県北部の23日のM4.3\*、愛知県南西部の20日のM3.4\*、東海はるか沖の31日のM3.0。8月は遠州灘から東海はるか沖にかけての12日のM3.3と19日のM3.2及び30日のM3.4、愛知県北西部の11日のM3.2と南部の29日のM3.0。9月は浜名湖付近の8日のM3.1、遠州灘から東海はるか沖にかけての21日のM3.2と24日のM6.6（余震多数発生）及び25日のM3.6と27日のM3.0、愛知県北部の17日のM3.2と18日のM3.1。10月は東海はるか沖のM6.6（9月24日）の余震活動と13日のM3.4、愛知県南西部の3日のM3.0と北部の24日のM3.1及び中部の27日のM3.0と北東部の29日のM3.6\*などである。

### <東海地域周辺>

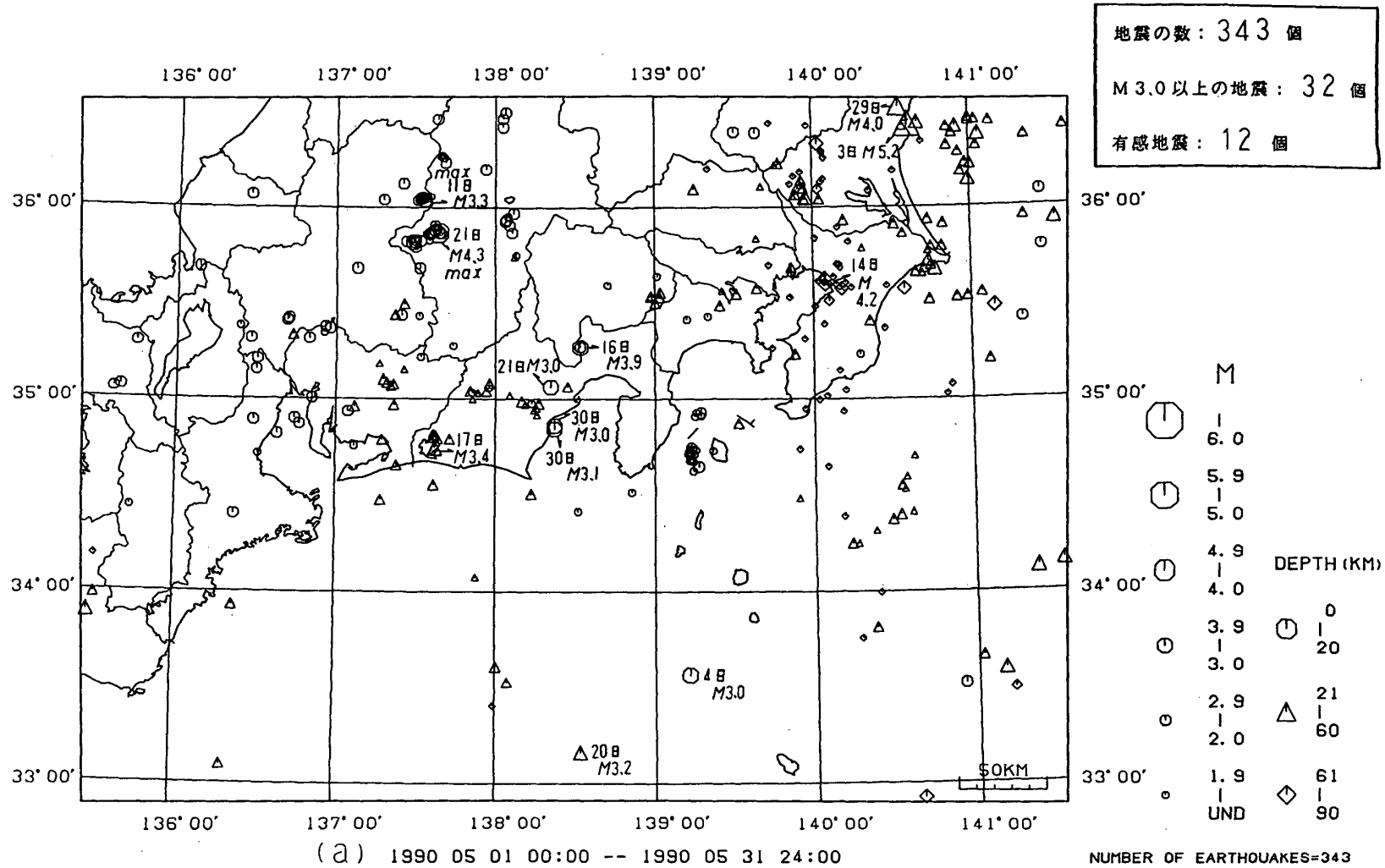
伊豆半島東方沖や大島近海は、この期間、特に目立った活動はなかった。同半島東方沖で10月25日に発生したM3.5\*が目をもひく程度。

目をひいた主な地震（M4.0以上と群発）は、5月では岐阜・長野県境付近の21日のM4.3\*（活動

活発化), 千葉県中部の14日のM4.2\*, 茨城県中部沿岸の3日のM5.2\*と29日のM4.0\*。6月では銚子付近の一日のM6.0\* (余震多数発生), 千葉県北部の15日のM4.2\*, 房総半島南方沖の26日のM4.5\*。7月では茨城県南部の4日のM5.1\*とM4.1\*及び同県沖の7日のM4.0\*と16日のM5.0\*, 房総半島南東沖の22日~26日の群発地震 (最大地震M3.6・22日)。8月では神奈川県西部の5日のM5.1\*, 岐阜・長野県境付近の6日のM4.2\*, 千葉県中部の23日のM5.4\* (余震多数発生) 及び同県南方沖の8日のM4.4\*, 茨城県沖の5日のM5.8\*。9月では千葉県北部の24日のM4.2\*, 八丈島東方沖の13日のM5.5\*。10月では岐阜・長野県境付近 (南部) の16日のM4.0\*, 鹿島灘の6日のM5.0\*, 三宅島近海南方沖) の5日からの群発地震 (最大地震M4.3\*・27日), 八丈島西方沖の9日のM4.0\*及び同島東方沖の25日のM4.9などであった。

なお, 図中シンボルマークに, 発生日とM値付記の地震は, 上に列記した主な地震のほか, 珍しいところで発生した地震等である。

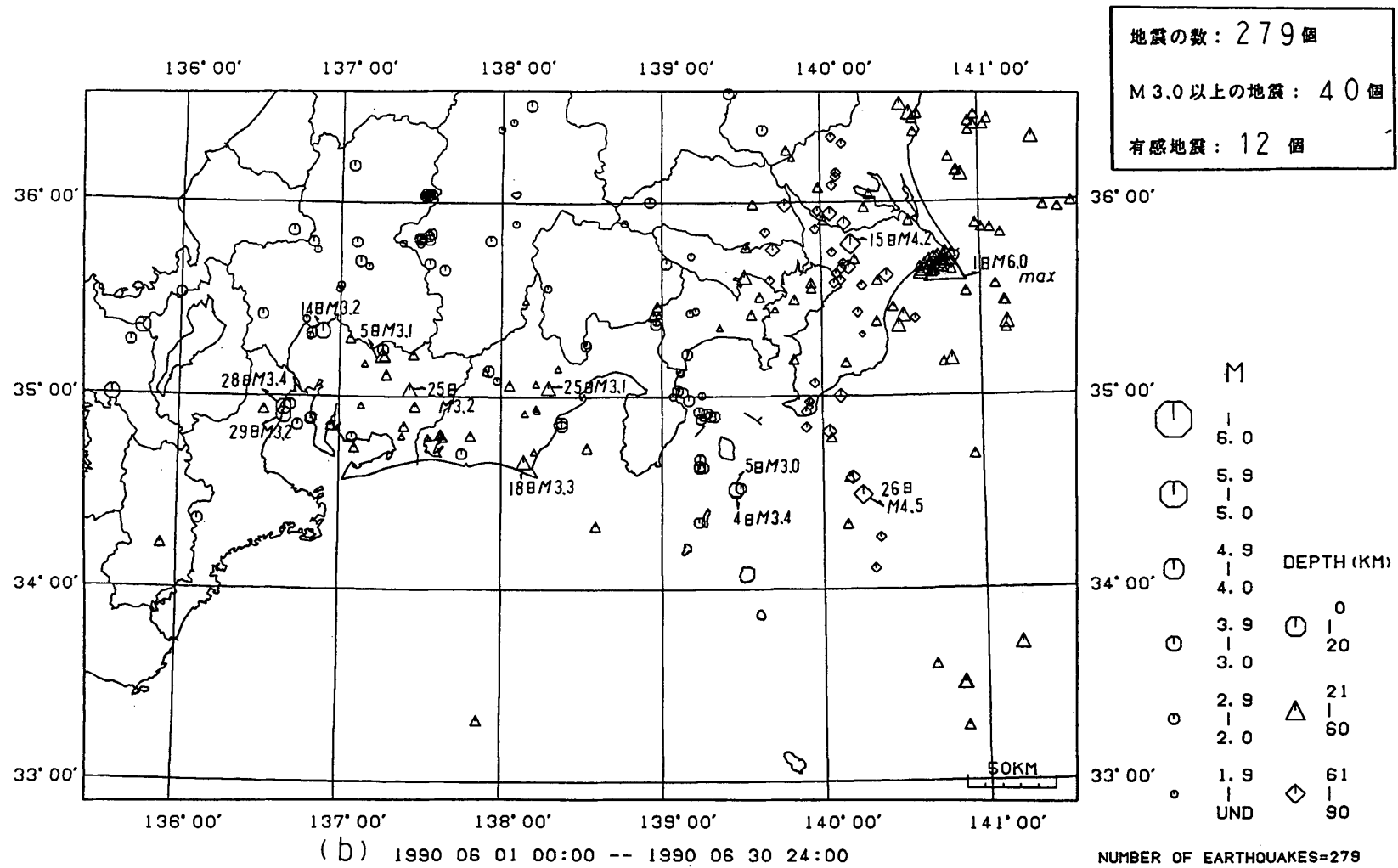
注: M値に\*印付きの地震は, 気象官署で有感となった地震。



(気象庁のほか、東京大学・名古屋大学・防災科学技術研究所のデータ使用)

第1図 (a)~(f) 東海・南関東地域に発生した地震の月別震央分布 (1990年5月~10月)

Fig. 1 (a)-(f) Earthquake epicenters in the Tokai and Southern Kanto Districts, May - October, 1990.

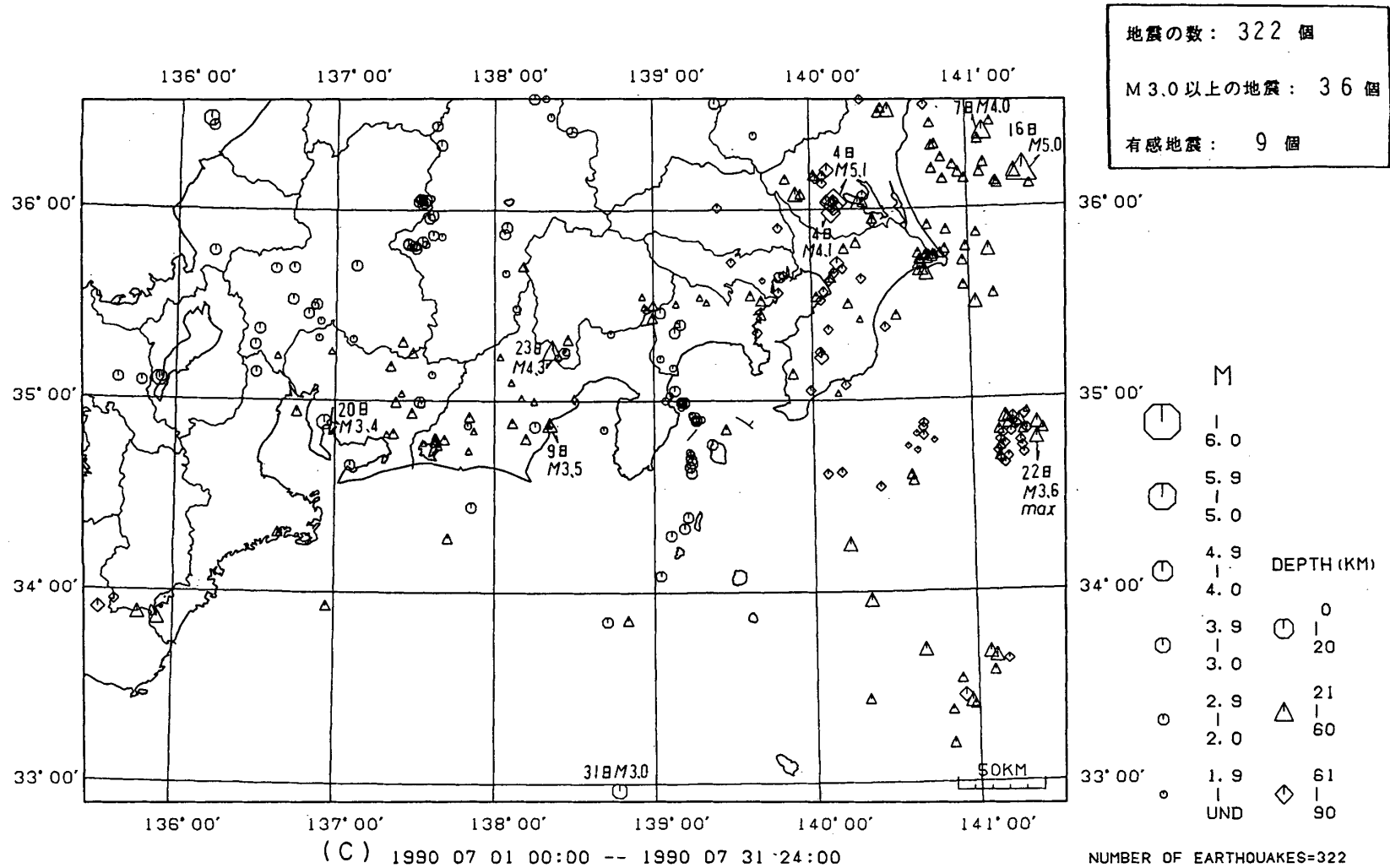


暫定

(気象庁及び東京大学・名古屋大学・防災科学技術研究所資料による)

第1図 つづき

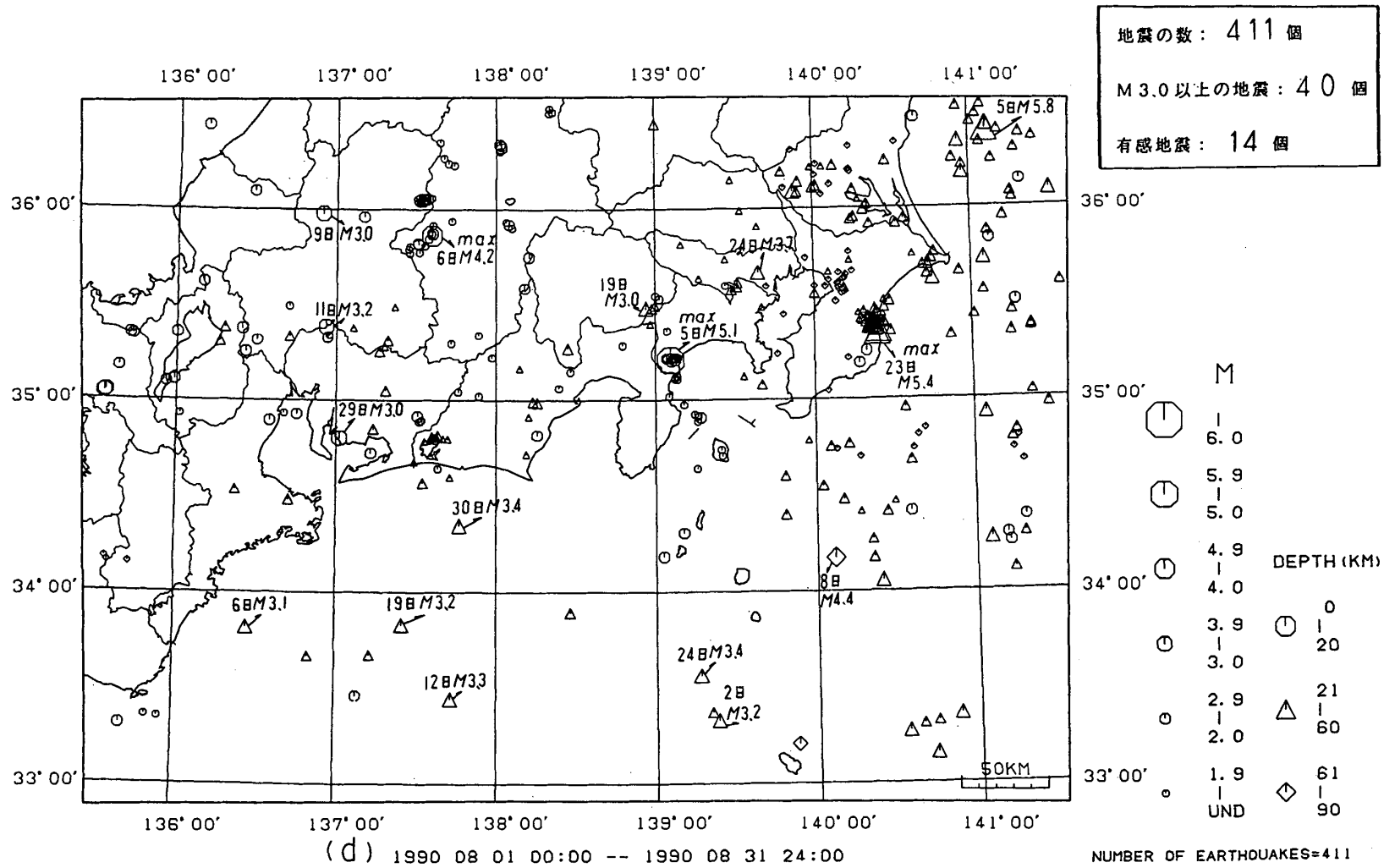
Fig.1 (Continued)



暫定

(気象庁のほか、東京大学・名古屋大学・防災科学技術研究所のデータ使用)

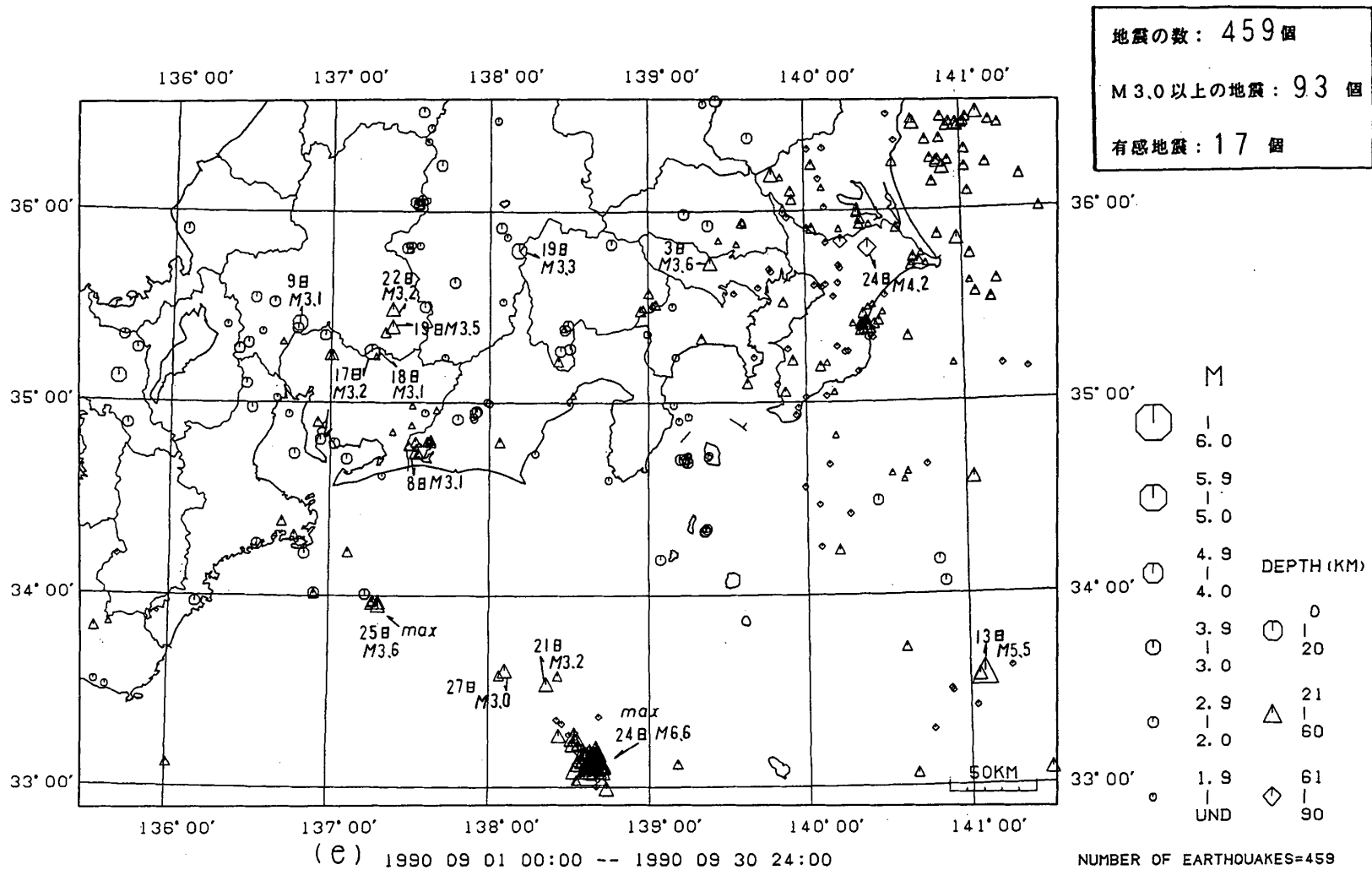
第1図 つづき  
Fig. 1 (Continued)



(気象庁のほか、東京大学・名古屋大学・防災科学技術研究所のデータ使用)

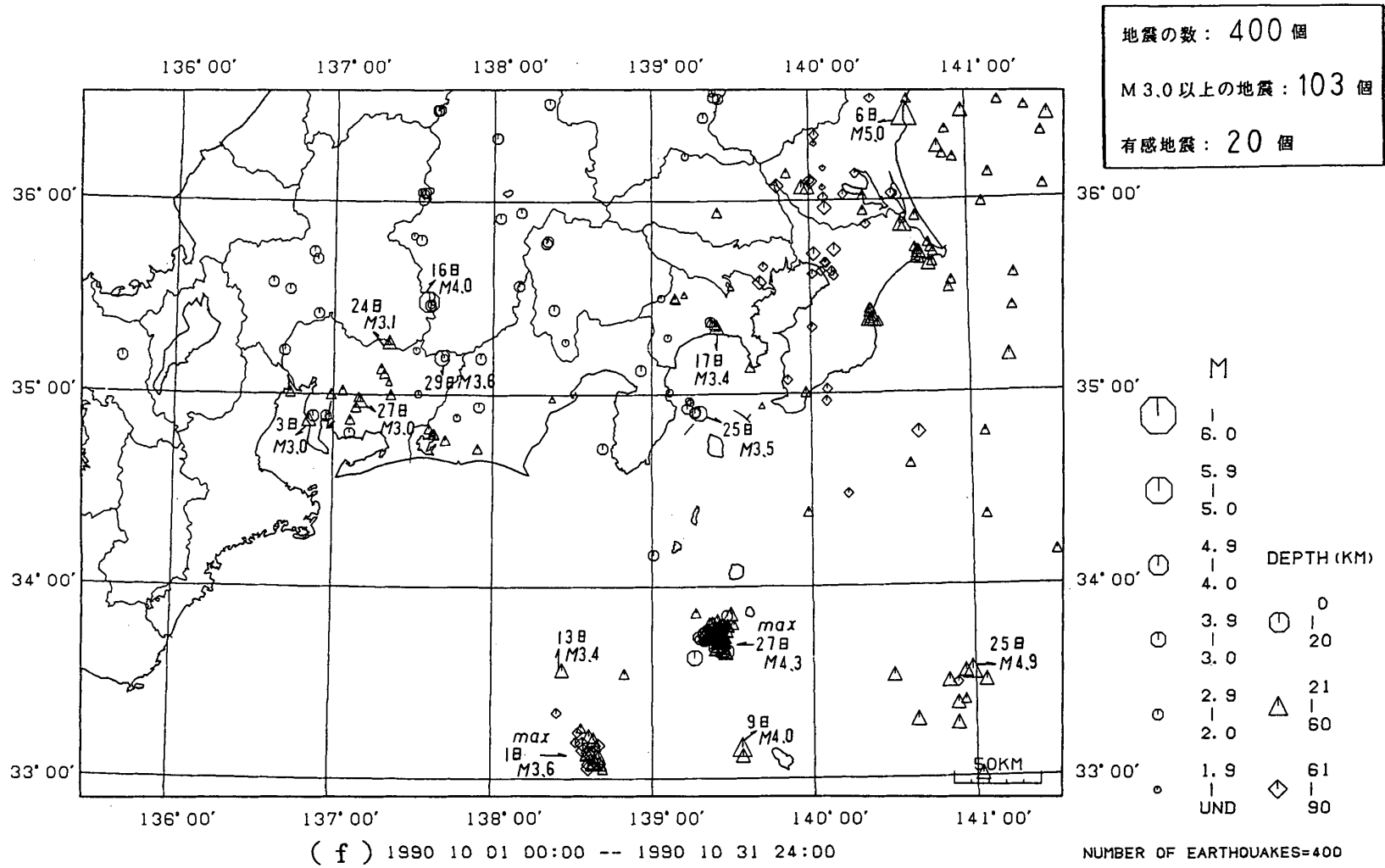
第1図 つづき

Fig. 1 (Continued)



(気象庁のほか、東京大学・名古屋大学・防災科学技術研究所のデータ使用)

第1図 つづき  
 Fig. 1 (Continued)

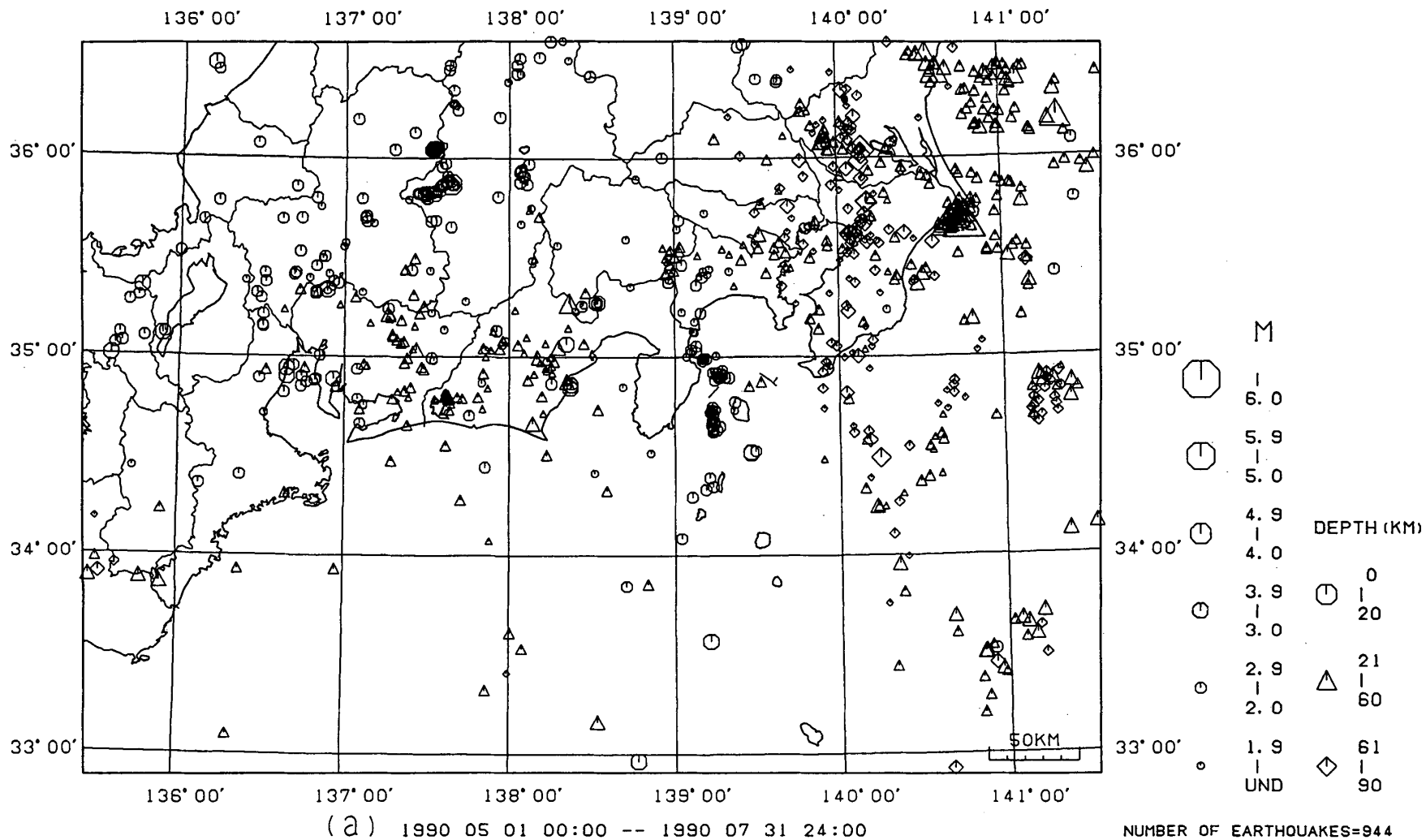


暫定

(気象庁のほか、東京大学・名古屋大学・防災科学技術研究所のデータ使用)

第1図 つづき  
Fig.1 (Continued)



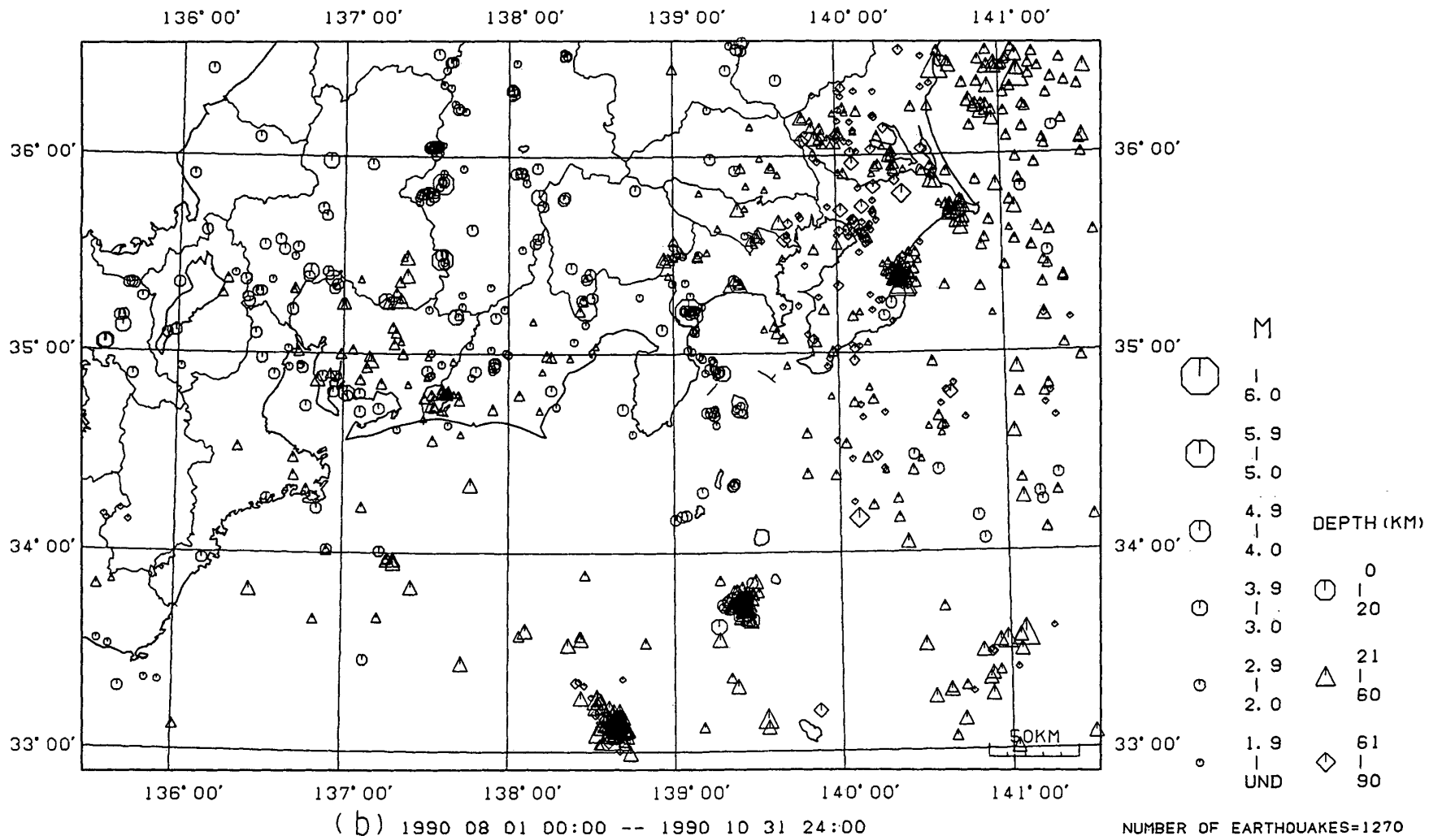


暫定：'90年6月→

(気象庁のほか、東京大学・名古屋大学・防災科学技術研究所のデータ使用)

第2図 (a)・(b) 東海・南関東地域に発生した地震の3ヵ月毎の震央分布 (1990年5月~7月・8月~10月)

Fig. 2 (a)·(b) Earthquake epicenters in the Tokai and Southern Kanto Districts for (a) May – July and (b) August – October, 1990.

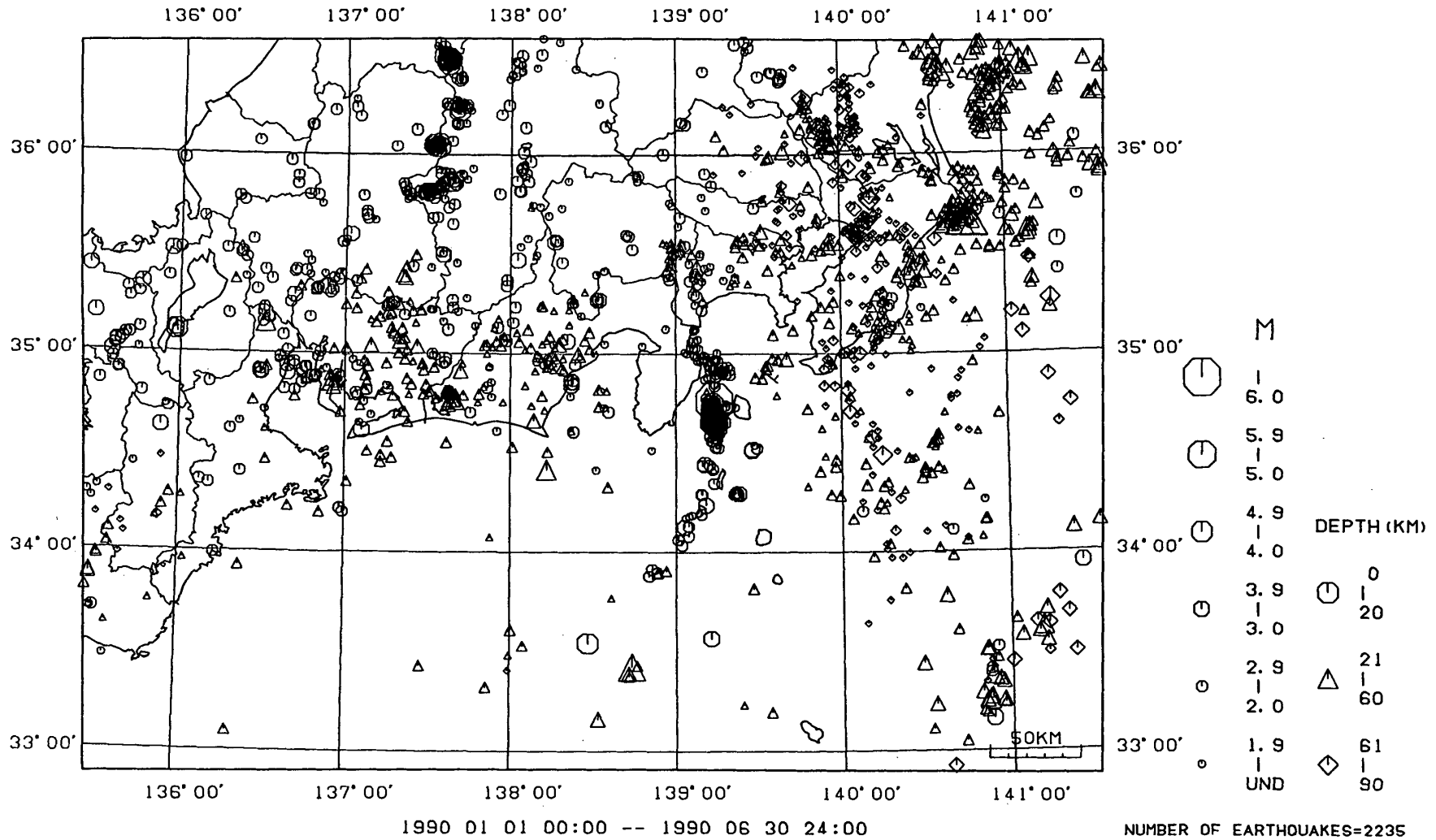


暂定：'90年10月—

(気象庁のほか、東京大学・名古屋大学・防災科学技術研究所のデータ使用)

第2図 つづき

Fig. 2 (Continued)



暫定： '90年6月一

(気象庁のほか、東京大学・名古屋大学・防災科学技術研究所のデータ使用)

第3図 1990年1月～6月の東海・南関東地域に発生した地震の震央分布

Fig. 3 Earthquake epicenters in the Tokai and Southern Kanto Districts for January – June, 1990.